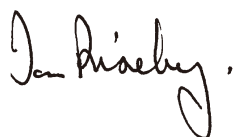


2017年～2018年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリー：
変化をもたらす

2017～18年度 国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー 氏




『蔵王 お釜』 写真提供：河合 隆 会員

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。

2017～2018年度(第60期 小原年度)

8月第3例会プログラム

8月24日(第2907回) VOL. 7

- 点 鐘
- ロータリーソング
- 来賓紹介
- ビジター紹介
- 幹事報告・委員会報告
- 会 食
- 卓 話「科学切手の世界」

- にこにこBOX
- 出席報告
- 点 鐘
- ロータリーソング

会 長
奉仕の理想
会長
親睦活動委員会

産業技術総合研究所
フレキシブルエレクトロニクス研究センター
印刷プロセスチーム 主任研究員 安部 浩司様

S.A.A
出席委員会
会 長
それこそロータリー

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

RI(国際ロータリー) 承認 日本国内247番
創立 1958年2月14日(昭和33年)
承認 1958年3月7日(昭和33年)

事務局：土浦市中央2-16-9 (常陽銀行4F)
U R L <http://www.tsuchiura-rc.org>
例会場：L'AUBE Kasumigaura

土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社
会長 小原 芳道 幹事 平島 隆之

TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830
E-mail office@tsuchiura-rc.org
毎週木曜日 12:30～13:30

★ ★ ★ ★ ★
60th
ANNIVERSARY

地区研究会報告

ロータリー財団研究会報告

黒田 喜文 ロータリー財団委員長

ロータリー財団研究会は、他の委員会に先立ち、7月10日(土)筑西市玉戸のダイヤモンドホールで開催され、午前中は、地区役員・地区R財団委員紹介に始まり、保延輝文ガバナーの挨拶、その後、藤井彰一R財団総括委員長の挨拶と講演があった。午後は、各担当委員長より具体的に説明があった。



内容として、

- 1 目標として、各クラブ会員に対し、年次基金130ドル、ポリオ寄付20ドル、合計一人当たり150ドル。恒久基金(ベネファクター)1,000ドル各クラブ一人以上。
- 2 ポール・ハリス・ソサエティ (PHS) 入会ご案内
毎年1,000ドル以上の寄付をされる会員に対し「ポール・ハリス・ソサエティ」の認証プログラムがあります。当地区では、2013～14年度 23名、2014～15年度 14名、2015～16年度 7名、2016～17年度5名の総数49名のPHS会員がおります。地区目標は、2019～20年度までに60名です。
なお、土浦RCには大槻利夫会員、廣瀬昭雄会員、坂本史郎会員、3名のポール・ハリス・ソサエティ会員がおります。
- 3 ロータリー財団への寄付金は、条例により所得税、法人税、相続税及び地方税の優遇措置が受けられますので、年度内12月20日までに申請、提出すれば翌年3月に間に合いますので寄付金の集める時期については、11月の財団月間が最適ではないかと思われます。
- 4 地区補助金申請実績について
保延年度83,438ドル、国内プロジェクト51クラブ、国際プロジェクト3クラブ。
担当委員会:社会奉仕委員会33クラブ、青少年奉仕委員会7クラブ、国際奉仕委員会4クラブ、R財団研究会他10クラブです。
- 5 財団奨学生に成るには、グローバル補助金を利用できます。グローバル補助金応募条件は「六つの重点分野」に該当する研究や勉強をする者に限られます。
六つの重点分野について(特別月間)があります。
・基本的教育と識字率向上(9月) ・経済と地域社会の発展(10月) ・疾病予防と治療(12月)
・平和と紛争予防/紛争解決(2月) ・水と衛生(3月) ・母子の健康(4月)
- 6 財団奨学生の地区状況は、寺前優子さん・園田裕明さんが承認され、貴山楓子さんが承認まちです。
- 7 ポリオプラスについて
地球上よりポリオ全滅までであともう少しです。間もなく、撲滅です。

職業奉仕研究会報告

河合 隆 職業奉仕委員長

日 時:平成29年7月9日 10時から15時

会 場:水戸市 三の丸ホテル

参加者(関係者のみ抜粋):保延ガバナー、倉沢研修リーダー、
山崎職業奉仕カウンセラー、高橋ガバナーエレクト、
中村ガバナーノミニ、木村地区職業奉仕総括委員長
以下、個人的に関心があった点につき報告します。



山崎職業奉仕カウンセラー講話

「あの頃君は」ということで、ロータリーには4人の父がいる。

- ①ロータリーの父「ポールハリス」、37歳でロータリーを創立しました。
- ②財団の父「アーチ・クランプ」1917年創立、標準定款と細則を作る。
- ③社会奉仕の父「ドナルド・カーター」シカゴ市の利益を推進し公衆用トイレ2基を設置。初めての社会奉仕と言われる。
- ④職業奉仕の父「アーサー・フレデリック・シェルドン」職業奉仕の概念を提唱する。
1989年規程審議会で、
- ①女性の入会が認められる。世界は22%、日本は6.2%
- ②「超私の奉仕」の標語をロータリーの第一モットーとする。
- ③「最も奉仕する者は最も多く報われる」の標語をロータリーの第二モットーとする。
- ④「職業宣言」を採択する。

保延ガバナー挨拶

職業奉仕の位置づけとして、財団、青少年奉仕に比べて蔑ろにされているかのごとく思われる。職業奉仕の理念を理解して欲しい。

倉沢研修リーダー挨拶

新しい手続き要覧に基づいて行う。奉仕には区切りがない。他の青少年奉仕、社会奉仕、財団等の間に境界はありません。

木村職業奉仕総括委員長

「職業奉仕活動について」の説明。

ロータリーの心は売り手よし、買い手よし、世間よしの「三方よし」とすることです。

奉仕活動事例として、

- ①出前口座。中学1・2年生を対象
- ②ロータリークラブメンバー以外の経営者等の「卓話」
- ③特別支援学校との就職協定

事例発表:古河東RC

「出前口座」の実践活動の説明がありました。県立古河一高から依頼があつて2008年から毎年行っている。中学校は2校、高校が2校、年3から4回とのことでした。

内容は、「高校生の豊かな心育成事業」5名から7名が各自のテーマで10分くらいを目安に話をする。講師は始めは会員でしたが、現在は若い人と言うことで、会員事業所の従業員や会員の子弟、ロータアクトなどが務めているとのことでした。

グループディスカッション

午後からは、各グループ4から5名の班毎とに分かれての自分のクラブの「今年度の職業奉仕活動について」のディスカッションでした他のクラブの活動の実際がわかり大いに参考になりました。

青少年奉仕研究会報告

廣瀬 太 青少年奉仕委員長

2017年7月15日に水戸市三の丸ホテルにて開催された、青年奉仕研究会に参加して参りました。

当研究会は、保延ガバナーをはじめとした、第2820地区の役員・委員及び各クラブの青少年奉仕委員長等の参加で行われました。私にとっては、予備知識が余りない状態の参加だったこともあります。大変勉強になりました。

各委員会についてですが、ローターアクト委員会につきましては、8クラブ約50名での活動しており、当地区において平成30年3月17日～18日に『SAIKAi』(サイカイ)をテーマにして『第30回ローターアクト全国研修会』が水戸で開催されるということで、会員の増強と、ローターアクトクラブの設立が課題であるとのことでした。

インターアクト委員会ですが、当地区では現在5クラブで、昨年度は262名の会員になっております。2017年8月20日に、ホスト校を水戸の水城高等学校として、『災害!“今” 私たちに何ができるか? 誰のために? 何のために?』をテーマに年次大会が開催とのことでした。

青少年及びライラ委員会ですが、第38回ライラは『魅力的あるリーダーとは』をテーマに、2017年10月7日～9日に大洗の県立児童センターこどもの城での開催となります。出来るだけ多くの青少年奉仕委員長にも参加してほしいとのことで、時間が許せば私も参加したいと思います。

青少年交換委員会ですが、例年、長期・短期の2つの交換プログラムを実施しており、長期では、アメリカ・フランス・タイの3カ国と1年間(各1名)の交換を行っております。短期ではタイと5名の高校生を交換し、8日間の研修を行っております。

当クラブでも、ローターアクトクラブの設立の承認をいただきましたので、準備が出来次第、活動を開始していきたいと思っておりますので、皆様よろしくお願いたします。

以上、報告となります。

